

第20回政府現地対策本部会議・第23回熊本県災害対策本部会議 議事録

日時 平成28年4月29日（金） 16:30～

場所 県庁新館8階 職員研修室

1 地震の状況

別添資料のとおり。

2 被害の状況

氷川町で関連死1名報告あり。死者は関連死17名を含め総数66名。

重傷者・軽傷者・分類未確定を含め1,542人。

住家被害は調査継続中だが、全壊・半壊・一部破損合計で36,745棟の報告が上がっている。

避難の状況について27市町村において、444か所の避難所、30,629人が避難している。

避難指示等の発令状況について、避難指示が8市町、避難勧告が10市町村発令中。

3 県等の対応状況

(総務部)

大型連休中、1日400人程度の県職員を市町村に派遣。他県からの職員と連携を図りながら窓口対応等実施中。

(企画振興部)

航空機関係で熊本～成田便の便数に変更があった。

JR九州豊肥本線の代行輸送としてのバスの利用の件だが、県側とJRとで協議中。

(政務官から通学手段の検討指示を受け)

(健康福祉部)

高齢、障がい、児童の各社会福祉施設におけるマンパワー不足(約140名)に関する要望への対応として、厚生労働省及び関係団体の協力を得て、すでに他県からの応援職員の要請を行っている。本日17名の受け入れ。

仮設住宅について、本日建設に着手した西原村、甲佐町それぞれ50戸着工。それ以外でも13市町村要望あり、建設用地の選定を進めており、3市町村が建設を検討中。

高齢者、障害者等への宿泊施設の提供、現在62組、133名に対して提供している。

熊本県の発達障害医療センターで5月7日、発達障害児含め被災時の子供への対応についてセミナー開催予定。

(環境生活部)

水道施設の状況について、市町村に対し毎日連絡をとっており、厚生労働省も担当官を市町村へ行かせて要請を伺っている。全国水道協会を通じた相互応援の体制に入っている。全国水道局や業者の方が入って協力している。阿蘇市では明日以降仮設管

を山鹿市、宇城市の管工事業者が明日から入っていく。

廃棄物の関係、熊本市で昨日から自衛隊の協力を得て災害ゴミの収集をされている。

現時点では県内でほぼ処理が可能と推計している。今後ビル等の災害ゴミが出てくるが、推計見込みをやりながら対応していきたい。

(土木部)

応急危険度判定について、14市町村一次調査完了。調査中が4町村。明日までに一次調査が完了予定。現在2次要望について調査をし、必要があれば対応する。

知事会見で応急仮設住宅建設着手を報告しており、資料を添付。

(教育庁)

通学困難な生徒への対応について、阿蘇地域からJRを使って、熊本市あるいは大津方面に通学している生徒（逆のパターンもあり）がいるが、地元自治体と協力して以下のとおり検討中。

① スクールバスの利用。② エリアでの通学可能な別の学校に行く。③ 寮などを活用する。

保護者への説明をすることとしており、JRとの協議を進めている。私学にも声をかけている。南阿蘇地域では5月2日に説明会。阿蘇市は5月6日に説明会を開催準備。

(県警本部)

立野地区で捜索活動実施中。

4 国等の対応状況

(消防庁)

立野地区で国交省等と連携を取りながら捜索活動実施中。

(自衛隊)

これまで通りの活動を実施する。

(国土交通省)

九州縦貫自動車道全線一般開放。応急危険度判定対象16市町村のうち、高森町及び南阿蘇を除き完了。

(海上保安庁)

熊本港において巡視船による入浴活動等生活支援実施中。

(気象庁)

本日15時過ぎに大分県で震度5強の地震発生。昨日は熊本県でも震度4を3回観測。引き続き活発な活動が続いている。今後も強い揺れに警戒。

天候についてはこれから明日にかけて晴れ、明日朝は今朝より気温が下がる見込み。

現在上益城、阿蘇地方に霜注意報発表。日中は温かく寒暖の差が大きいので体調管理に注意。

(全国知事会)

全国市長会、全国町村会からもぜひ支援したいとの申し出がなされており、全国知事会が間に立たせていただいて、熊本県外の市町村からの職員派遣をさせていただいている。資料では代表として全国知事会だけが記載しているが、全国市長会もすでに南阿蘇

村の方に4月23日から派遣している。

明日4月30日から全国町村会の職員派遣がはじまる予定。

(九州電力)

阿蘇地域の電力供給について、昨日21時36分に発電機車を取り外して配電線による供給に切り替えている。

(西部ガス)

94, 259戸復旧。復旧率93.4%。

(LPガス協会)

会員調査の情報であるが、全壊・半壊を除いて復旧作業完了。

避難所でのLPガス供給、熊本市等への新規入居者作業がはじまっている。

5 県災害対策本部長の発言

(蒲島知事)

依然として、所在がわからない1名の方の捜索を続けており、一刻も早い救助を心から願っている。

発災から2週間を超えた。いまだに余震は収まる気配がないばかりか、先ほど大分県で、震度5強の強い揺れが発生している。引き続き警戒を怠らないようお願いします。

今なお、3万人近い方々が避難所生活をされている。この解消には、「すまい」の確保が何よりも重要。

本日、先行して、西原村と甲佐町で仮設住宅計100戸の建設に着工。

その他の市町村でも、一日も早く、皆さんのニーズに沿った、安心・快適な「すまい」で暮らせるよう、仮設住宅、みなし仮設住宅など、あらゆる選択肢を用意し、迅速に対応して参る。

また、避難所生活をされている高齢者や障がい者の方々を支援するため、県と県介護福祉士会などが連携し、避難所での入浴介助等の支援をスタートさせた。皆さんの避難所生活を少しでも快適にできればと思っている。

国の動きでは、石井国土交通大臣が、今日から2日間の日程で災害現場の視察においてである。明日、私もインフラの復旧などについて、意見交換させていただく予定。

さらには、安倍首相も、先週23日に続き、本日熊本に足を運んでいただいた。先ほど申し上げた、西原村の仮設住宅の建設現場などを視察いただいた。政府一丸となつての手厚い御支援に、改めて感謝申し上げます。

4月中に、九州の交通の要である、九州新幹線と九州自動車道が全面復旧した。一步一步着実に、復旧・復興への歩みが進んでいることを、強く実感している。

県としても、この歩みをさらに進めるため、公務が休止するゴールデンウィーク期間中、延べ約4,000人の職員を市町村へ派遣し、現地での支援活動に当たる。

一日も早い復旧・復興を目指し、引き続き「チームくまもと」として一緒に頑張っていきましょう。

(以上)